

都道府県ニュース

What's happening in your district

■ 近畿ベンチプレス 選手権大会出場レポート 7月5日

会場：大阪市中央区体育館サブアリーナ

報告：パワーハウスコーチ、野田俊彦

写真：JPA 監事、IPF 国際審判 物江 毅



毎月様々な角度から鋭い世相観察をしておられるG3のツイッターの、竹井選手。目標は90歳で60kg拳上!

りも自信があったので、失格して本当に情けなかったが、いろいろ再確認できたことが多く、仮想全日本ベンチとして調整できたのもあり、本当に出場してよかったと思った。

選手であったためすべての試技は見られなかったのですが、今大会で印象に残っている選手を紹介していきたい。

59kg級ノーギア一般に出場した東坂康司選手（K'sジム）。自身の日本記録165.5kgを第二試技で500g更新。第三試技では167.5kgを粘りの試技で成功させて更に記

今月5日（日）に開催された近畿ベンチプレス選手権大会に出場してきた。

出場しようと思ったきっかけは、8月に開催されると予想されたアジアベンチプレス選手権大会に出場しようと思ったが、近隣国の内戦などにより、日本選手の派遣を見送るかもしれない、また、開催日が遅くなるという噂を聞いたので、10月末の全日本ベンチの調整で出場しようと思っていたが難しいと判断し、他県から日本記録狙いの選手が多数出ると知った事もあり、私も出場を決めた。もし、ノーギアの調子がよかったらギアを着て出ようとは思わなかったが、ノーギアの調子があまり良くない割にギアはまずまず調子が良かったので、それも出場しようと思ったきっかけだ。

練習では、220kgを6～7割成功させていて、217.5kgは8～9割成功と、そこまで悪くない調整ができていたが、大会では、成功すれば日本新記録（未公認世界新）となる、217.5kgからスタートして、それを3本とも失敗し失格という結果だった。去年の全日本で優勝した同階級の木村選手（K'sジム）も、220kgからスタートして同じく3本とも失敗して記録なしとなった。

217.5kgは去年12月のウェストトーキョーベンチプレス選手権大会で成功していたのに今回はそのときよ



M3、66kg級、日本記録樹立の佐藤選手。

最高に盛り上がった、祐輔対大紀のノーギア対決



録更新。ノーギアでも記録を狙っていききたいと思うので、いずれ記録を破れるように頑張りたいと刺激をもらった。

59kg 級で 87 歳になる竹井保満選手（列剛河内）はなんとノーギアとフルギアのダブルエントリー。このお歳で本当にパワフルで大会後にお話を聞きしたが、90 歳でノーギア 60kg は挙げていたいとおっしゃっていた。是非とも続けていただきたいと思った。



試技前、集中する野田俊彦選手

66kg 級 M3 の佐藤恵二選手（京都府個人）。第二試技で 140.5kg の M3 日本新記録を失敗されたが、第三試技で同重量を成功された。

74kg 級ノーギアで凄かったのは、児玉大紀選手（K's ジム）と鈴木祐輔選手（長野県 B.A.D）の対決。第一試技、鈴木選手は 200kg を軽く成功。児玉選手は自身の持つ 203kg の日本記録を 500g 更新となる 203.5kg を軽く成功。第二試技、鈴木選手は 205kg を成功し、児玉選手の記録を塗り替える。児玉選手は 211kg を挑戦し、再び記録を取り戻す。第三試技、鈴木選手は成功すれば再び記録更新となる 212kg を挑戦し見事成功。児玉選手は冷静に 215kg を申告していたが、212.5kg に重量を下げて、会場にいる方すべてが注目する中、私の見た感じでは、第一、第二よりも軽く挙がる成功試技で日本記録を更新。会場中が湧いた。あらためて児玉選手の試技をゆっくりと見られて本当に勉強になった。鈴木選手がパワーで挙げるな

都道府県ニュース

What's happening in your district

男子 120 kg 級、355 kg の日本新樹立、上田選手。

都道府県ニュース

What's happening in your district

ら、児玉選手はテクニックで挙げるといふ対称的な試技でとても面白かった。

フルギアの 83kg 級以上も盛り上がった。83kg 級ジュニアでエントリーした長谷川直樹選手（K's ジム横浜）は 261kg を成功させてジュニア日本記録を樹立。

93kg 級では、一般日本記録 293.5kg を、葛西昌彦選手（K's ジム）は第一試技で 280kg の M1 日本新を成功させた後、第二、第三試技で、吉川望選手（マッスルプロダクション）と、佐藤優輝選手（K's ジム横浜）は第一試技から挑戦。残念ながら三選手とも失敗、吉川選手と佐藤選手は失格となってしまったが、私もだが次の大会では是非更新していただきたいと思った。

120kg 級では、上田真司選手（K's ジム）が、第一試技で 345kg を軽く日本記録を更新したあと、第二では惜しくも失敗だったが、第三試技で 355kg を成功させて記録を更新。怪我で一時は復帰を危ぶまれたようでしたが、怪我をする前よりも強くなったそうで、すばらしい精神力と努力、ハートの強さの賜物だと思った。私も怪我で 4 年以上競技を休み、去年から復活したが、まだまだ未熟なので、上田選手から更に刺激をいただいた。

120kg 超級の古城資久選手（パワーハウス赤穂）は本来の体重を戻し、第一試技に 252.5kg を第二試技に 260kg、第三試技に 265kg を軽々成功させて、M2 日本新記録を樹立された。

今回、観戦に来られた物江さんにはセコンドに入っていていただき、アップ場では児玉さんを始め、多くの方にサポートしていただき、いつもどおり試合に臨むことができました。本当にありがとうございました。

■ 筑西市ベンチプレス選手権大会

7月5日 会場：コスモスポーツ

報告：茨城県協会筑西支部、田名部真二

大会結果は記録欄をご覧ください。

